

消防団たずね歩き

我がまち、西垂水

垂水消防団西垂水分団は、分団長以下 36 名で旧西垂水地区（海岸通、宮本町、五色山、霞ヶ丘、歌敷山、天の下、陸ノ町、神田町、日向、仲田、旭が丘、高丸、上高丸、星ヶ丘、星陵台、千代が丘、千鳥ヶ丘、潮見が丘 1、福田、向陽、大町、馬場通、野田通、瑞穂通、清水通、御霊町、瑞ヶ丘）を出動地域とし、宮本町の垂水漁港入口付近に設置している西垂水分団器具庫兼詰所を基点に防災活動を行っております。

消防団の活動範囲は多岐にわたっています。火災の鎮圧はもとより地震、風水害など大規模災害時の救助・救出・避難誘導・警戒・防除等に関する業務や、平常時における訓練や地域住民への安全啓発・広報活動・防火指導・救急指導などがあります。

主な活動は、月一回の自主訓練・防災福祉コミュニティの指導や地域行事の警備等を行っています。我々がやっている自主訓練の中には、垂水漁港でのポンプ操法訓練があります。

災害時の対応に必要な資機材の取扱方法、資機材によるケガ等の防止など災害活動の基本を習得するための基本訓練であり、規律、強靱な精神、意識の高揚を図るため意欲を持って取り組んでいる訓練です。

また、西垂水分団の特色として、播磨三大社の一つでもある海神社（かいじんじゃ・わたつみじんじゃ）の秋の大祭（10/10・11・12）においては西垂水分団員を中心に「西垂水青年会」として西垂水財産管区が保有している「布団太鼓」の地区内巡行の指揮を執り行い、団員・青年会の若手を主体に獅子舞の奉納や地域行事にも参加しています。



更に、毎年大晦日には海神社にて、瑞ヶ丘八幡では厄神祭（1/18・19・20）において、「火の番」と言われる飛び火警戒も行っています。

私たち西垂水分団は、今後も地域に密着した活動を通して、防災体制の強化、向上を図っていくよう努めていきます。

垂水消防団 西垂水分団 団員 林 真幸

地域とともに防災力の強化・向上を目指して！